UNI-PEX

FM/AM ラジオチューナーユニット AU-100

取扱説明書（保証書付）

このたびは、FM/AMラジオチューナーユニットをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

●ご使用の前に必ず、この取扱説明書の「安全上のご注意」と取扱方法に関する説明をよくお読みの上、正しくお使いください。

●お読みになったあとは、必ず保存してください。

安全上のご注意　必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容(上図の場合は分解禁止)が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

△記号は注意(危険・警告)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

異常が起きたときは、ただちに使用をやめる

煙が出ている、においや音がする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災・感電の原因となります。ただちに組込機器の電源を切り、販売店などにご連絡ください。

取付作業、及びお手入れの際は電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因となることがあります。

専用機器以外に接続しない

この機器は専用機器に組み込んでご使用いただくように設計されています。専用機器以外に接続すると火災、感電、けがの原因となります。

分解／改造はしない

火災・感電の原因となります。修理や点検は、販売店などにご依頼ください。

表示部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店などにご連絡ください。

異物を入れない／濡らさない

水や金属が内部に入ると、火災・感電の原因となります。ただちに電源を切り、販売店などにご連絡ください。

⚠注意

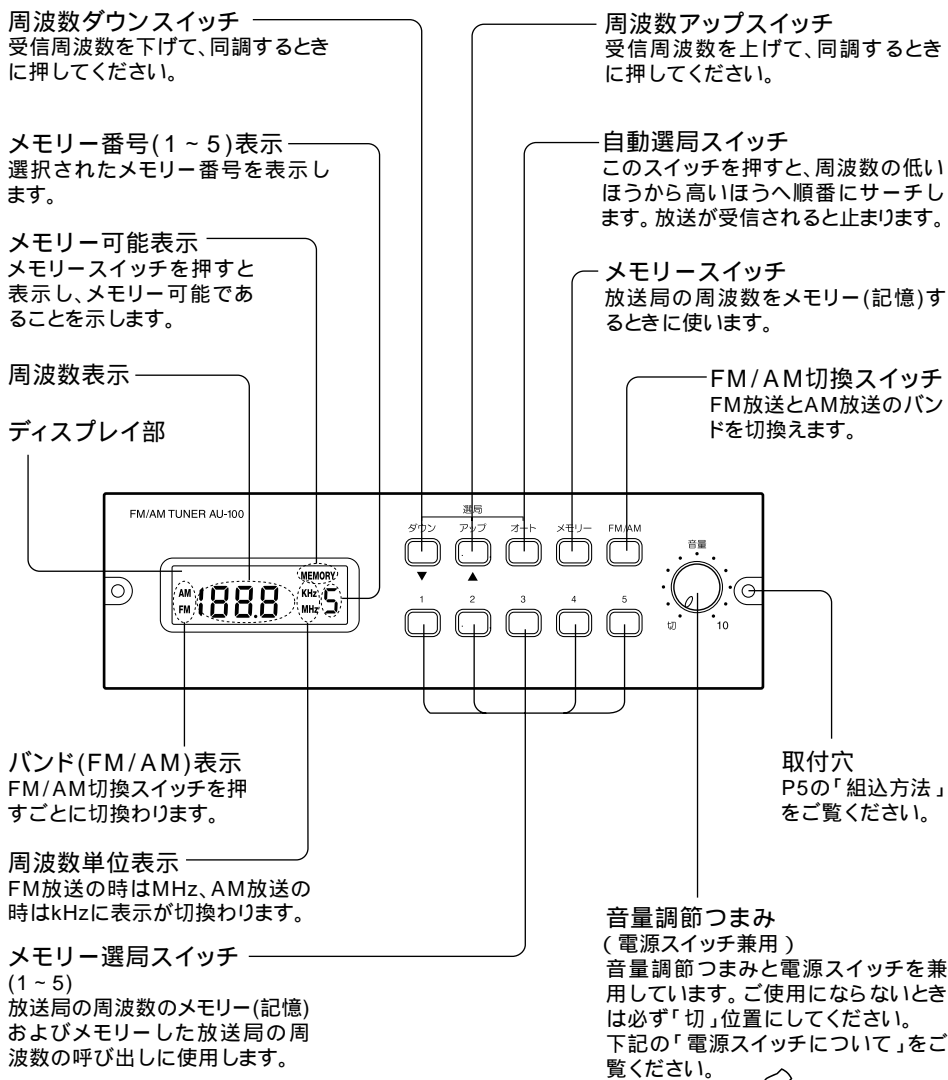
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源を入れる前には音量を最小にする

突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

取り付ける機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って取り付けてください。

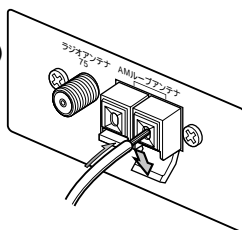
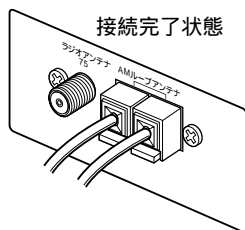
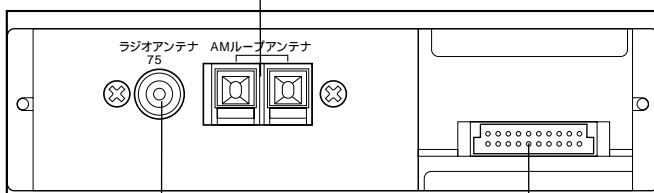
１年に一度くらいは内部の掃除を工事店などにご相談ください。内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨時の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については工事店などにご相談ください。

各部の名称と説明（前面）

電源スイッチについて

●本機の電源が入りますと電源制御機能がはたらきます。組込機器にCDプレーヤーユニット　AU-200シリーズ（被電源制御ユニット）が一緒に収納されている場合は本機の電源が入りますとAU-200シリーズの電源が自動的に切れます。本機をご使用にならないときは、本機の音量調節つまみ（電源スイッチ兼用）を必ず「切」位置にしてください。

各部の名称と説明（後面）

AMループアンテナ端子

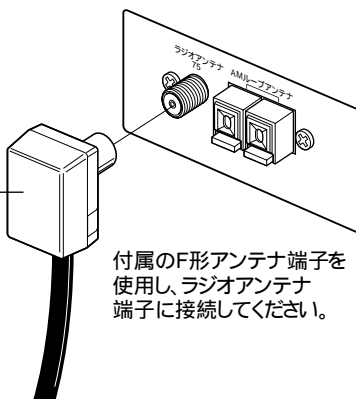
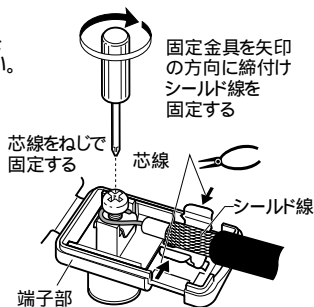
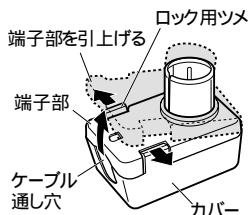
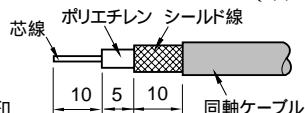
付属のAMループアンテナ（AM放送受信用）を接続します。
P8の「AMループアンテナ（付属）について」をご覧ください。

接続コネクター

本機をユニット挿入口に装着し、軽く押し込みますと、挿入口内部のコネクターに接続されます。P5の「組込方法」参照。

ラジオアンテナ端子

FMアンテナをラジオアンテナ端子に接続してください。接続線は必ず同軸ケーブルを使用してください。

F形アンテナ端子（付属）

同軸ケーブルを使用してラジオアンテナと接続してください。
P5の「付属のF形アンテナ端子の接続のしかた」をご覧ください。

付属のF形アンテナ端子の接続のしかた

組込方法

⚠警告 取付作業をおこなう場合は必ず、組込機器の電源を切るか、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1. 本機を組み込む機器の前面のユニット挿入口と後面のアンテナコネクター部の両ブランクパネルを各々2本の取付ねじをはずし取り除いてください。はずしたねじ（M3×8）は本機を固定するときに使用しますので紛失しないようご注意ください。

2. 本機を組込機器前面のユニット挿入口に挿入し、軽く押し込んで本機の接続コネクターを挿入口内部のコネクターに接続してください。

3. 本機を「**1.**」ではずした2本のねじで固定してください。(図1参照)

4. 本機後面のアンテナコネクターにアンテナを接続してください。

ご注意 ●本機をねじで固定する前に、必ず本機後面のコネクターが組込機器側のコネクターに確実に接続されているか確認してください。確認事項は以下のとおりです。

・本機前面パネルと組込機器の挿入部周辺が同一面に揃っていますか。

・本機後面のパネル（アンテナコネクター部）が組込機器後面の角穴部からずれていませんか。

「被制御」を「通常」に変更する場合

●本機は組込機器本体のオートマチックフェーダー回路のはたらきで自動的に音量が減衰する「被制御」に設定されてます。自動的に音量が減衰しない「通常」で使用される場合は本機後部の基板上のジャンパーピンを「通常」側に差し換えてください。

■ジャンパーピンを通常側に差し換える場合

◎本機を既に機器に組み込まれているときは本機を組込機器より取りはずしてください。

1.本機の上面カバーをはずしてください。（図2参照）

2.本機内部のスロット基板上のジャンパーピン（J1）を差し換えてください。(図3、4参照)

3.「1」ではずした上面カバーをもとどおり取り付けてください。

4.P5の「組込方法」の説明をご覧になり、本機を機器に組み込んでください。

使い方

①電源を入れる

音量調節つまみ（電源スイッチ兼用）を切の位置から右まわしにしますとカチッという音がして電源が入り、表示部に各表示が表示されます。

②受信するバンドを選ぶ

FM/AM切換スイッチを押し、表示部のバンド(FM/AM)表示を受信するバンドに切換えてください。

③受信する放送局の周波数に合わせます

・手動選局の場合

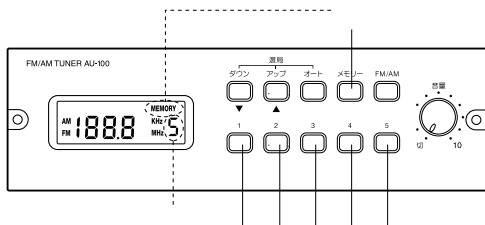
周波数アップスイッチまたはダウンスイッチを押して希望の放送局の周波数に合わせてください。
周波数アップスイッチまたはダウンスイッチを0.5秒以上押し続けると連続して周波数が変化します。

・自動選局の場合

自動選局スイッチ(オート)を押して希望の放送局の周波数に合わせてください。自動選局スイッチを押しますと、周波数の低い方から高い方へ順番にサーチします。放送が受信されると止まります。

④音量を調節する

電源スイッチ／音量調節つまみをまわし適切な音量に調節してください。

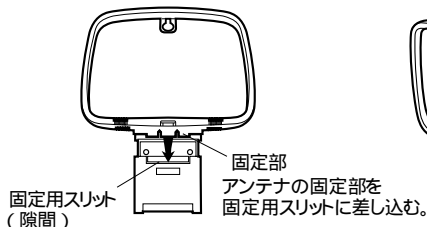
放送局のメモリーのしかた

●放送局の周波数をFM/AMそれぞれ5局(計10局)記憶させることにより、選局はメモリー選局スイッチ(1〜5)を押すだけでワンタッチでおこなえます。次の要領で放送局の周波数をメモリー(記憶)してください。

①上記の「使い方」の①〜③手順で記憶させたい放送局の周波数に合わせてください。

②メモリースイッチを押してください。表示部右上にMEMORYの表示が約4秒間表示されます。

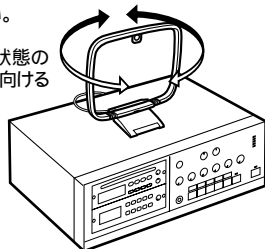
③MEMORYが表示されている間に、ご希望のメモリー選局スイッチ(1〜5)を押して記憶させてください。表示部のMEMORY表示が消え、押したメモリー選局スイッチの番号が表示されます。

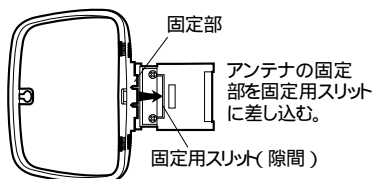
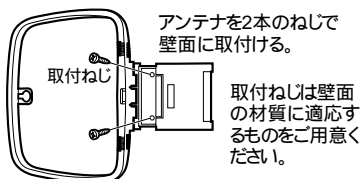
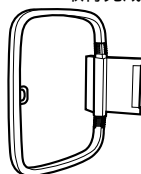
AMループアンテナ（付属）について

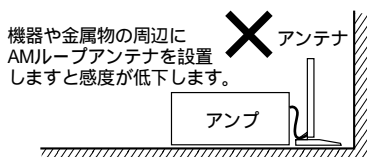
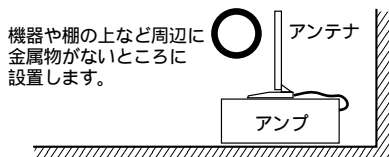
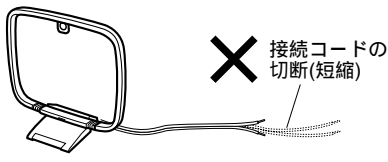
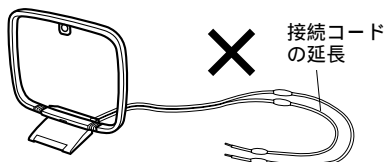
AMループアンテナの組み立てかた

① アンテナを組み立てる。

●AMループアンテナを組み立て、機器に接続してください。アンテナをもっとも受信状態のよい方向に向けてください。

AMループアンテナの壁面取付方法

●機器がラックなどに設置される場合は、AMループアンテナを機器の近くの受信状態の良い場所に設置してください。

① アンテナを2本のねじで壁面に取付ける。

② アンテナを垂直に固定する。

AMループアンテナの設置上のご注意

AMループアンテナを機器または金属物の周辺に設置しますと感度が低下します。
AMループアンテナは機器または金属物から離して設置してください。

AMループアンテナの接続コードは切断したり、延長したりしないでください。また、付属のAMループアンテナ以外のアンテナは使用しないでください。充分な感度を得られません。

アンテナの接続のしかた

⚠警告 機器の接続・組込・初期設定の調整、変更などは火災、感電、けが、故障の原因となりますので、必ず工事店に依頼してください。

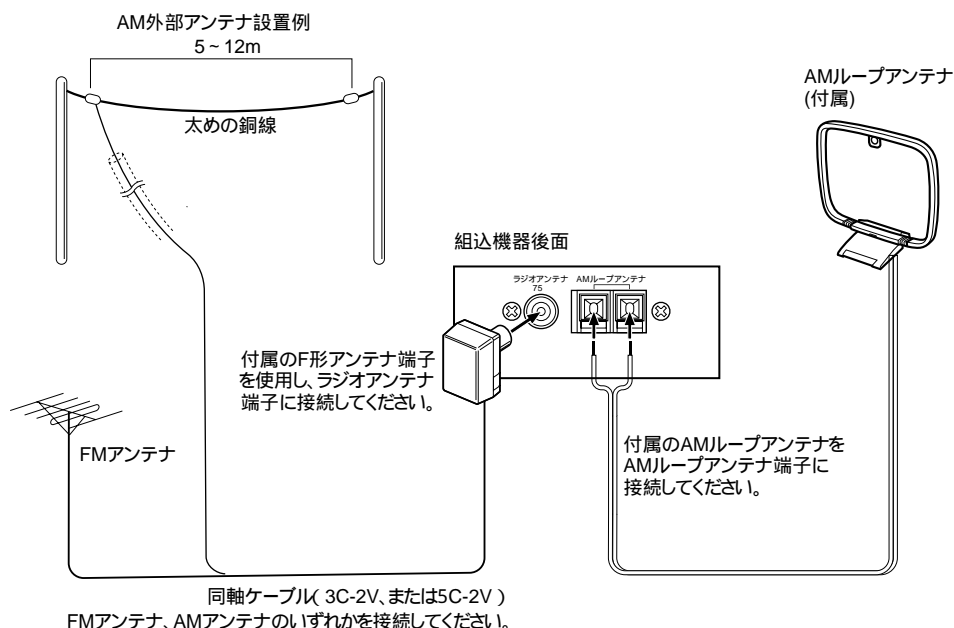
FM放送を受信するとき

・FMアンテナをラジオアンテナ端子に接続してください。接続線は必ず同軸ケーブルを使用してください。
・FM放送を良好に受信していただくために、市販のFM専用アンテナを設置されることをお勧めします。

AM放送を受信するとき

・付属のAMループアンテナの接続端子を本機のAMループアンテナ端子に接続してください。
・AMループアンテナで充分に受信できない場合はAM外部アンテナを設置してください。接続線は必ず同軸ケーブルを使用し、ラジオアンテナ端子に接続してください。（図5参照）

注）AMループアンテナはAM外部アンテナを接続される場合でも接続しておいてください。

図 5

点検方法

ほんのちょっとしたことで正常に動作せず、故障かな?と思うことがあります。次の要領で点検してみてください。

症　状	点　検　項　目	対　策
全く動作しない	組込機器の電源が接続されていますか。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
	ディスプレイ表示灯が点灯していますか。	組込機器の電源スイッチを入れてください。
		電源スイッチ兼用の音量調節つまみで電源を入れてください。
音声がでてこない	音量調節つまみが最小になっていませんか。	適当な音量に調節してください。
	目的の放送局に選局されていますか。	P7の「使い方」をご覧になり、正しく選局してください。
	アンテナは接続されていますか。	接続を確認してください。

定格

使用電源	DC 12V 組込機器本体より受電
消費電流	200mA 以下
受信周波数	AM:531～1602kHz／FM:76.0～90.0MHz
アンテナ入力	AM:ループアンテナ ／ FM:75Ω
実用感度	AM:30dBμV(1kHz 30% 変調 S/N比20dB) FM:12dBμV(1kHz 75kHzFM S/N比30dB)
定格出力	−20dBV
プリセットメモリー	フラッシュメモリー方式
使用温度範囲	0℃～＋40℃
寸法	幅169mm 、高さ50mm 、奥行326mm
質量	約920g
付属品	取扱説明書(保証書付)1、AMループアンテナ 1、F形アンテナ端子 1

外観寸法図 (単位:mm)